

このページは市民の皆さんと一緒に作るページです。投稿・登場をお待ちしています。秘書広報課（市役所内線207）

ふれあい広場

クローズアップ

今、「旬」の人や団体を紹介します。

豪快な一本勝ちで日本の頂点に。

そのままがじしは世界を見据える。

4月12日に大阪府で開催された柔道の全国大会「全日本カデ体重別選手権」で、西脇市出身の藤原崇太郎さんが2度目の優勝を果たし、全国から選抜された17歳以下の選手たちの頂点に立ちました。

幼少期から柔道に夢中

藤原さんは、日体荏原高校（東京都）に通う2年生。幼稚園のころ、姉と一緒に西脇柔道スポーツ少年団の練習を見学したことがきっかけで柔道を始めました。恵まれた体格を生かして頭角を現し、芳田小3年生のときには「西日本少年柔道大会（広島市）」に出場。3回戦で敗れて生来の負けず嫌いに火が付いた藤原さんは、西脇に帰るとすぐに、両足に重りをつけて登校したり、天井からつるした綱を腕だけで上ったりと、自分の課題を克服するためにさまざまなトレーニングを行うようになった。父の喜成さんは「あくまで勉強が第一」としながら、藤原さんが練習に励むのを支えてきました。



柔道の全日本カデ体重別選手権で2連覇
藤原 崇太郎 さん

格を生かして頭角を現し、芳田小3年生のときには「西日本少年柔道大会（広島市）」に出場。3回戦で敗れて生来の負けず嫌いに火が付いた藤原さんは、西脇に帰るとすぐに、両足に重りをつけて登校したり、天井からつるした綱を腕だけで上ったりと、自分の課題を克服するためにさまざまなトレーニングを行うようになった。父の喜成さんは「あくまで勉強が第一」としながら、藤原さんが練習に励むのを支えてきました。

強さを求めて武者修行

中学に進学すると、さらに練習熱心になり、週3回の部活動後に加古川市や高砂市の柔道場に向いて大人相手に練習を重ねました。午前0時に帰宅するハードな日々でしたが、空き時間に宿題を終わらせるなど、柔道と勉強をしっかりと両立。一度も弱音を吐きませんでした。そのかいあって、2年生のときには、全国

中学校柔道大会で団体の部、個人の部ともに優勝。全国柔道連盟の強化選手に指定されると、全国のライバルたちと競いながら、さらに高みを目指すようになりました。3年生でも個人の部で大会2連覇を果たした藤原さんは、全国にその名を知られるようになっていきました。

激戦区・東京都の代表として

中学時代に共に戦った先輩たちが待つ日体荏原高校に進学すると、入学早々の4月に「全日本カデ体重別選手権」で優勝。専門誌にも「この世代を代表する大物」と取り上げられるなど順調な滑り出しかと思われた矢先、意外な落とし穴が待っていました。

激戦区・東京都から全国を制した1年生への注目が大きなプレッシャーとなり、慣れない減量にも失敗したことで、8月の「全国高等学校総合体育大会」では2回戦で敗北。「勝てるチャンスはあったのに、自分の柔道ができなかった」と藤原さん。それ以来、どれだけ苦しくても稽古後の自主トレーニングを続け、精

東京オリンピックを目指して

藤原さんが大学4年生になる2020年は、東京オリンピック開催の年。藤原さんは「自分はまだまだ下手。外国人選手にも慣れが必要だし、課題は多い」と謙虚ですが、「課題を一つずつクリアした先に東京オリンピックがあれはうれしい」と、そのときをしっかりと見据えています。

子育て奮闘記

子育て中の皆さんからのおたよりをご紹介します



4歳になる次女は、普段はしっかり者で何ごとでもテキパキとこなします。この4月から通っている保育園にも、すぐに慣れるだろうと思っていました。ところが、どうやら勝手が違ったようです。

娘は、よく登園前に「お熱があるかも」と言い出して、私を慌てさせます。しばらく、保育園を休む口実を探して思案顔ですが、ポツリと「ママと離れるのが寂しいの」と言

って、園服に着替え始めます。頑張らなくてはならないということは、実は、本人が一番よく分かっているのです。だから、私はぎゅっと抱きしめてあげることしかできません。別れ際に涙を流し、ハンカチを握りしめて、小さな心は毎日、葛藤を繰り返しています。あらためて考えると、娘はこの世に生まれてまだ4年しかたっていない。この間まで、おっぱいを飲んで、ほん

の少しの距離を一生懸命ハイハイしていたのです。

私も母としては未熟です。そもそも子育ては得意ではなく、世間から見ても「良いお母さん」ではありません。だから、悩みに悩んで、育児本を読みあさったこともありましたが、けれど、本の中には、私が求めていた答えは一向に見つかりませんでした。そんなとき、頑張る娘の小さな背中を見て「子どもが成長していくように、母親も少しずつ成長していけばいいのでは」とふと思ったのです。それから、随分気持ちが軽くなったことを覚えていきます。

子育て学習センターから

子どもの成長とともに、「子どもに寄り添う生活」は、やがて「子どもを見守る生活」に変わります。ずっと一緒に過ごしてきた母子にとっては、大きな変化でしょう。越えるべきハードルもまた変化しますが、しっかりと親子の絆と信頼関係があれば、きっと乗り越えることができます。

市民の皆さんのまちづくり活動をご紹介します

みんなでまちづくり

第26回比也野よってけライブ

- 「わがやか」コンサート 緑の風（G.K.F.M）」
- ▼とき 6月13日（土）午後1時30分
- ▼ところ こみせん比也野（西脇市鹿野町）
- ▼内容 バイオリンとピアノの演奏会（西山枝里、大西美由紀）、オレオレ詐欺注意コント
- ▼入場料 300円
- ▼主催 ええまち比也野里
- ▼問合せ こみせん比也野（☎240120）
- ▼各地区のまちづくり活動を紹介
- 西脇地区コミュニティ活動推進協議会
- ▼とき 6月14日（日）午前9時から
- ▼内容 豊川歩道橋プラランター花植込み

このコーナーでは、地域で取り組まれているまちづくり活動を紹介しています。掲載希望は、左記までお問い合わせください。掲載先を市役所2F秘書広報課へ郵送またはご持参ください。

あそびの広場（6月）

一緒に手遊びや読み聞かせなどを楽しみましょう。誰でも参加できます（10時～正午）。

- あひあいランド ☎22-4150
2日（火）ベビーの広場
3日（水）おしゃべり広場（総合市民センター2階）
- へそっこランド ☎28-5702
22日（月）ベビーの広場（黒田庄福祉センター3階）
- 茜が丘集会所
27日（土）ふぁみりープログラム
- ◆問合せ 子育て学習センター（☎28-5702/☎28-5703）

いきいきにしわきっ子



そうま 蒼眞 2歳2カ月

雄大・由佳（寺内）
元気に大きく育ってね！

いきいきにしわきっ子を募集しています。写真と紹介文、連絡先を市役所2F秘書広報課へ郵送またはご持参ください。